



じゃづく  
**安行原の蛇造り**  
(市指定無形民俗文化財)

5月24日、安行原蛇造り保存会のみなさんの手で行われました。わらで編み上げた長さ10メートルもの大蛇を力を合わせてやぐらへ引き上げ安置し、一年間の平和と繁栄を祈りました。

**SKIPシティ国際  
Dシネマ映画祭2014  
記者発表**

6月6日、千代田区の日本外国特派員協会で開催。上田知事や奥ノ木市長など関係者が、今年で11回目を迎える映画祭への意気込みや見どころをPRしました。



**ごみまるまつり  
in TOZUKA**

5月25日、戸塚環境センターで開催。ステージやごみまるふあふあなどの催しのほか、施設見学会では中央制御室や発電機など普段目に見ることがないごみ処理の様子を見学しました。

# KAWAGUCHI

# PUBLICITY



**第37回  
青少年まつり**

6月1日、グリーンセンターで開催。ステージでは青少年団体の活動成果が披露されたほか、ゲームコーナーや模擬店などもあり、子どもたちは楽しい一日を過ごしました。



**劇団四季「こころの劇場」**

5月29・30日、リリアで開催。市内の小学校5年生全員が招待され、家族の絆を描いたミュージカル「ふたりのロッセ」を観劇。子どもたちは身を乗り出して見入っていました。



**歯の健康  
フェスティバル**

6月1日、歯の衛生週間にあわせてリリアで開催。川口歯科医師会による歯科ドック体験やブラッシング指導、相談などが行われ、来場者は歯の健康について理解を深めました。





## ありがとう、聖火台。

5月31日、SAYONARA国立競技場FINAL “FOR THE FUTURE” が開催され、さまざまなアトラクションが行われました。ファイナルセレモニーでは、多くの観客に見守られながら、聖火台に灯された炎が消えました。



COMMUNITY

マイシティ  
かわぐち

MYCITY

### ひと・歴史・かわぐち Vol. 18

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した川口ゆかりの人物を紹介していきます。

#### 川口近代鑄物業の先駆者

永瀬 庄吉

今回は、川口鑄物の技術革新に尽力し、川口町長なども歴任して、川口の発展に貢献した永瀬庄吉をご紹介します。

3代目永瀬庄吉は、安政4年(1857)に、屋号「葉研屋」という鑄物業を営む家柄に生まれました。葉研とは、漢方薬を作る際に薬剤を押し砕いて細粉にする道具のことで、「葉研屋」は、この薬研と鉄瓶を主に鑄造していたといわれています。庄吉は、9歳のころから寺子屋で基礎教育を受け、14歳になると、家業の鑄物業を手伝い、祖父の2代目庄吉から、鑄物技術を学びました。

当時の川口鑄物業は鍋・釜・鉄瓶などの日用品の生産が中心でした。しかし、庄吉はこの状況では、これ以上の発展は望めないと考え、蒸気動力機械を設置した近代的な工場であった東京市の有馬製作所の技術をもとに、蒸気機関による送風機を完成させ、機械力による鑄造・仕上げ、組み立て作業を開始しました。

同時に川口の鑄物業者にも蒸気機関による送風機を供給し、造型も西洋の近代的手法を紹介・導入して、川口鑄物業に技術上の一大革新をもたらしました。

また、川口町議会議員、川口鑄物同業組合長、川口町長などを歴任し、川口の発展に大きく貢献しました。

その他にも庄吉は、川口に電力が供給される10年以上前の、明治33年(1900)に邸宅内に火力発電所を設置し、県内で初めて近隣に電灯を灯しました。本一通り(本町1)にはレンガ造りの発電所跡が現存し、当時の様子や庄吉の技術探求心の深さをしのべます。

参考文献：川口市史「通史編下巻、1988、川口市」「川口大百科事典」、1999、川口大百科事典刊行会



永瀬 庄吉